

営業収益・・・589億円(前年同期比2.8%増)
 ・カード・ショッピングクレジット・ペイメント事業が引き続き堅調を維持し、増収基調が継続
 営業費用・・・527億円(同3.9%増)
 ・新システムに係る減価償却費やトップライン拡大に伴う原価性費用などが増加
 営業利益・・・61億円(同5.6%減)、経常利益・・・61億円(同6.9%減)
 親会社株主に帰属する四半期純利益・・・46億円(同6.9%減)

アプラスの投資用マンション購入に関する与信について(2019年12月末)
 ・残高総額:1,550億円(うち割賦:148億円)
 ・このうち、アルヒ社が仲介した残高は1,430億円(うち割賦:32億円)
 ・平均残高:約1,200万円

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2018			FY2019			FY2019業績予想*	
		3Q累計	3Q累計	前年同期比	3Q累計	3Q累計	前年同期比	進捗率	
営業収益	1	573	589	2.8%	800		73.7%		
営業費用	2	507	527	3.9%					
販売費及び一般管理費	3	486	505	3.9%					
人件費・物件費等	4	390	403	3.4%					
クレジットコスト	5	96	102	5.7%					
貸倒引当金繰入額	6	96	102	5.7%					
利息返還損失引当金繰入額	7	-	-	-					
金融費用	8	21	22	4.9%					
営業利益	9	65	61	-5.6%	87		71.2%		
経常利益	10	66	61	-6.9%	87		70.7%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	50	46	-6.9%	70		67.1%		

*2019年5月15日公表の当初業績予想

(中期経営戦略の基本方針) 価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化

【ショッピングクレジット】
 ・昭和リースとの協業によるベンダーリース、個人向けオートリースの営業活動を強化。
 ・WEB経由で申込が完結するeオーダーの拡大により、一般商品の取扱を伸ばす。

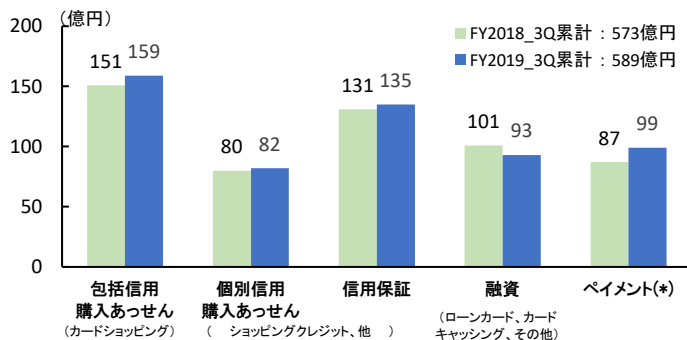
【カード】
 ・TSUTAYAフランチャイズ店との連携強化や、その他提携先との新たな提携カードを発行。
 ・当社が発行するTカードの中で最もTポイント付与率の高い「Tカードプラス PREMIUM」の発行を開始。

【ローン(ハウジング含む)】
 ・リバースモーゲージ型住宅ローンの営業推進や、人生100年時代に対応した返済期間が最長35年の「リフォームローン ゆとりR35」の取扱を開始。

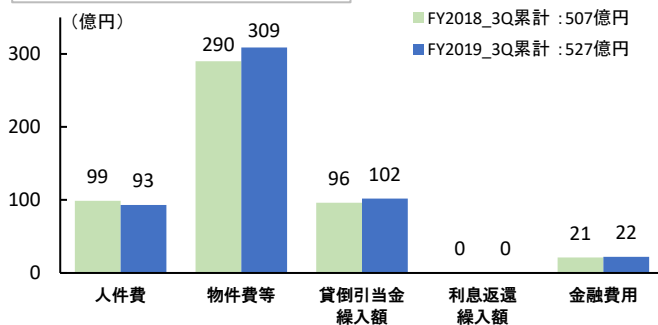
【ペイメント(*)】
 ・東アジア地域からの訪日観光客向けのコード等決済サービス「kakaoPay」「AlipayHK」「JKOPAY」を導入。
 ・APAMANグループとの関係を強化し、家賃保証業務を拡大。

2. 部門別営業収益

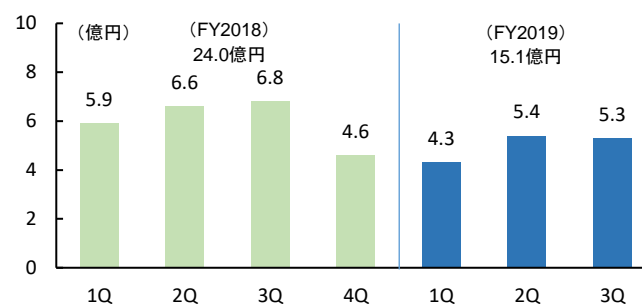
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

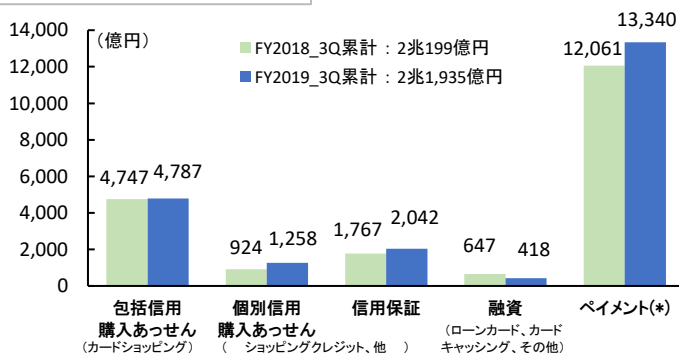


4. 利息返還実績四半期推移



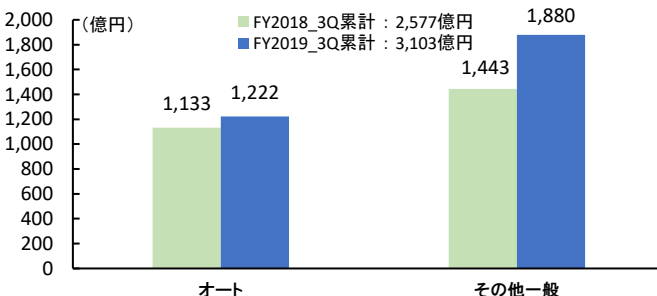
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない

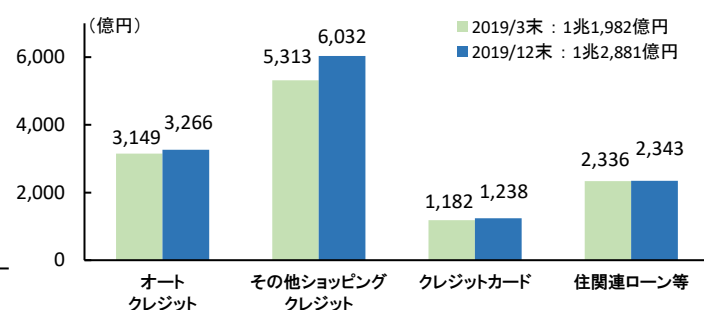


6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あつせん」と「信用保証」の一部



7. 営業性資産残高(信用保証業務含む)



(*) ペイメント・・・集金代行(コンビニ、口振)、家賃保証、プリペイドカード、コード決済 など